

# 家庭学習の手引き

～進んで学ぶ子どもをめざして～



# 1・2年生 基本的な学習習慣をきちんと身につける

## ★ 「育ち」や「学び」の特徴

- 「もっと知りたい」「もっとできるようになりたい」という好奇心でいっぱいの低学年です。
- できないことをしかるより、「よくできたね！」「自分でやろうとしてすごいね！」と認めてほめることで、すばらしい意欲を生み出します。
- 「早寝早起き」、「しっかりと朝食をとる」、「朝の排便」、「正しい姿勢で座る」、「あいさつをする」など基本的な生活習慣が身につくと、学習の習慣も身につきます。



## ★ 保護者として

- 一人で学習内容や方法を決めるることは、まだ無理なので、一緒に考えてあげましょう。
- 子どもの考えや疑問を大切にして、わからないことは一緒に調べましょう。
- 書いているものを見たり、読んでいるのを聞いたりしてあげましょう。
- まずは、宿題を確認したり、明日の準備を確かめたりしましょう。
- 学校からの連絡やお便りと一緒に確かめましょう。
- 基本的な生活習慣を身につけるようにしましょう。
- テレビやゲームなどの遊びも、時間のけじめをきちんと守らせましょう。



## ★ 学校での学習内容の特色

- 「読み、書き（ひらがな・漢字・かたかな）、計算」など、小学校6年間の学習の土台となる基礎的・基本的な学習が始まります。
- 身の回りと結びついた学習が多く、具体的な物を使ったり、実際に体験したりします。
- 繰り返し練習することで、力のつく学習内容がたくさんあります。
- 「鉛筆を正しく持つ」、「明日の学習の準備をする」、「整理整頓する」も基本の学習です。

## ★ 家庭学習のヒント

学習時間のめやす 10分～30分

## ～学習を始める前の3つのチェックポイント～

- 学習前に、勉強する場所の整理整頓をさせましょう。
- 学校からのプリント類、宿題を連絡帳で、一緒に確認しましょう。
- 鉛筆の正しい持ち方を教えましょう。

★宿題について・・・全部できるようになれば大丈夫！  
宿題をやり終える子どもにしましょう。



## 家庭学習（自主学習）ワンポイント・アドバイス



### ◎ ひらがな・かたかなの練習

### ◎ 教科書の音読

・意味のまとまりごとに、すらすら読めるようにしましょう。

(注意) 一文字ずつ、ゆっくりと読まないように気を付けましょう。

・句読「。」や読点「、」に気を付けて、大きな声ではっきりと読みましょう。

### ◎ 漢字の学習

・書き順に気をつけて、丁寧にゆっくりと書きましょう。

・オノマトペを使って書くと、丁寧に書く意識が持てます。

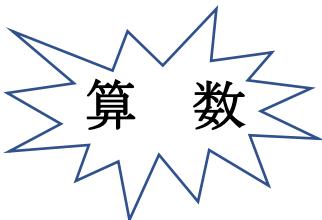
※漢字を書くときに、「とん」や「つうー」などを声に出しながら書いてみよう。

- |                 |                       |
|-----------------|-----------------------|
| (1) 書き始め・・・「とん」 | (2) 立て画・横画を書く・・・「つうー」 |
| (3) おれ・・・「かくっ」  | (4) はらう・・・「しゅっ」       |
| (5) はね・・・「ちょん」  | (6) とめ・・・「ぴたっ」        |

### ◎ 日記や作文

・楽しかったこと、うれしかったことなどを素直に自分の言葉で書きましょう。

・順番を考えて書きましょう。



### ◎ 計算練習

・最初は、ゆっくりでもいいので楽しみながら計算に慣れましょう。

・計算に慣れ、正しくできるようになったら、少しづつスピードを上げて練習してみよう。

・たし算やひき算が正しくできるようにしよう。(1・2年生)

・かけ算(九九)がすらすらできるようにしましょう。(2年生)

・間違った問題は、どこをどう間違ったのかを見つけて、必ずもう一度やり直してみよう。



### ◎ 読書

・絵本や物語などいろいろな種類の本を読みましょう。

### ◎ 教科書(国語)をノートに写す

### ◎ 詩を書いたり、覚えたりする。

### ◎ 家にあるドリルや問題集をする。

### ◎ 国語辞典や漢字辞典、図鑑で調べる。

### ◎ 観察ノート(生き物や植物の様子など)

### ◎ 学校のチャレンジプリントをする。



## 3・4年生

# 自ら机に向かう姿勢を育てる

### ★ 「育ち」や「学び」の特徴

- 学校生活に慣れ、自分でできることが、さらに多くなってくる中学年です。
- 自分の力で全部やりたいという心が芽生えて、自分自身でやろうとしますが上手くできないことが多く、まだ手助けが必要です。
- 好奇心旺盛で、行動範囲が広がります。
- 1. 2年生で身につけた学習や生活習慣が、ちょっとしたことでくずれがちになります。
- 新しい学習が始まり、勉強が急に難しくなったと感じて、苦手意識をもつようになります。
- みんなと行動することを好み、自分の思いや考えと違うときに、口ごたえしたりや反抗したりする姿が、少しずつ見られる時期になります。
- 家族や周りの大人の温かいアドバイスや励ましの言葉が、やる気を起させます。



### ★ 保護者として

- まずは、学校の宿題、それから興味関心があるものを自主的に学習する習慣を身につけさせましょう。
- 子どもが分からないところは、一緒に考えてあげましょう。
- 辞書や地図、新聞などを身近に置いて、自主学習に活用しましょう。
- 時間を意識させ、けじめをつけましょう。テレビやゲームの時間を守れるようにしましょう。
- 他の子どもと比べないで、子どもの「やる気」や「がんばり」を見逃さずに、本気でほめましょう。



### ★ 学校での学習内容の特色

- 外国語活動、社会科、理科、総合的な学習の時間、書写（毛筆）が始まり、学習範囲が大きく広がります。
- 資料集や地図帳、辞典、タブレットなどを使って調べ学習をすることが多くなります。
- 新出漢字・・3年生では200字、4年生では204字（都道府県の名前を全て漢字で書けるようにします）。
- 算数では、四則計算の基礎基本を徹底して学んだり、分数や小数などの内容を学んだりしますが、低学年学んだことが、これから学んでいく基礎基本となっています。

### ★ 家庭学習のヒント ➡

学習時間のめやす 30分～50分

### ～学習を始める前の3つのチェックポイント～

- 学習前に、勉強する場所の整理整頓をさせましょう。
- 学校からのプリント類を親に渡す習慣をつけさせましょう。
- 今日の宿題を自分で確かめさせましょう。

★宿題について・・・子どもの力に合った内容や量になっているか、必要な時は先生に相談しましょう。



## 家庭学習（自主学習）ワンポイント・アドバイス



### ◎ 教科書の音読

（会話文は、気持ちを込めて読めるようにしましょう。）

### ◎ 漢字の学習

- ・正しい筆順で、丁寧にゆっくりと書きましょう。
- ・オノマトペを使って書くと、「とめ」や「はらい」などが、丁寧に書けます。

※漢字を書くときに、「とん」や「つうー」などを声に出しながら書いてみよう。

(1) 書き始め・・・「とん」 (2) 立て画・横画を書く・・・「つうー」

(3) おれ・・・「かくつ」 (4) はらう・・・「しゅつ」

(5) はね・・・「ちょん」 (6) とめ・・・「ぴたつ」

- ・漢字のつくりやへんを覚えましょう。

・漢字を一つ一つ漢字の意味やでき方や熟語の意味などを調べて、書く練習をすることで漢字の力がついてきます。

### ◎ 日記や作文

- ・様子がよくわかるように、会話を入れてくわしく書きましょう。
- ・一番伝えたいことを（話の中心）をおさえて書きましょう。  
書いたら読み直しましょう。

### ◎ ローマ字、四字熟語やことわざ

反対の意味言葉調べなど



### ◎ 計算練習

- ・計算の手順が正しく身につくよう毎日少しづつ練習しましょう。
  - ・ひっ算は、必ず位をそろえて書き、手順を確かめながら計算しましょう。
- ★繰り上がりや繰り下がりの計算、九九がまだ十分でない場合は、必ず完璧にできるように繰り返し練習しておきましょう。
- ・間違った問題は、どこをどう間違ったのかを見つけて必ずやり直してみよう。



### ◎ 読書（いろいろな種類の本を読みましょう。）

### ◎ 教科書の文章や詩などをノートに視写する。

### ◎ 詩を書いたり、覚えたりする。

### ◎ 社会科や理科の教科書を読んで、大切なことをノートに写す。

### ◎ 家にあるドリルや問題集をする。

### ◎ 勉強に関することや興味関心を持ったことを辞典や図鑑、本やインターネット新聞などで調べる。

### ◎ 観察日記（生き物や植物の様子など）

### ◎ 学校のチャレンジプリントをする。

### ◎ リコーダーで学習した曲の練習。（健康上できない場合あり）

### ◎ 興味関心を持った外国の言葉や衣食住を調べる。



## 5・6年生

# 自ら予定を立てて、自力で学習を進める

### ★ 「育ち」や「学び」の特徴

- 自立心が大きく育つ高学年。
- 自分を一人前として認めてくれるか、気にかけてくれたり大切にしてくれたりしているなど、大人の評価をとても気にします。
- 成功体験を積み重ねることで、自己有用感を持てるようになります。
- 自分を客観的に見つめたり、友だちと自分を比べたりするようになります。
- 考える力が大人並みになり、自分の思いが通せない時は反抗する姿が多く見られるようになります。
- 得意な教科と苦手な教科を意識し始め、苦手な教科を避けようとし始めます。
- 先生や家族のアドバイスによって、学習への意欲や興味・関心、これから先の自分の成長が大きく左右されます。



### ★ 保護者として

- 宿題と授業の復習を中心に、計画を立てて学習を進めていけるよう見守っていきましょう。
- 子どもの学習や将来の夢に关心を持って、声掛けを必ずしましょう。
- 他の子どもや兄弟姉妹との比較ではなく、昨日の我が子と比べ、少しの頑張りをほめてあげましょう。
- 高学年は忙しくなりますが、必ず学習する時間帯を決めて集中して取り組めるようにしましょう。
- 生活リズムが崩れやすくなりますので、基本的な生活習慣を見直し、リズムよい生活をさせましょう。
- すぐに結果を求めるのではなく、目標に向かって努力を重ねていくことの大切さについて、話合いましょう。

### ★ 学校での学習内容の特色

- 家庭科が始まるほか、外国語科を通して、社会や世界に目を向けた学習など、学ぶ内容が多くなります。
- 筋道立てて考える論理的な内容や多様な見方や考え方が必要な内容、抽象的な思考をともなう学習が増えます。
- 自分で課題を見つけて、解決していく学習が多くなります。
- 自ら学ぶことの面白さや楽しさを経験させ、「学び方」や「ものの考え方」、「自分の考えとは異なる考え方を受け止めたり、多様な考え方・見方に気づいたりする力」を育てます。

### ★ 家庭学習のヒント

学習時間のめやす

50分～70分

### ～学習を始める前の3つのチェックポイント～

- 学習前に、勉強する場所の整理整頓をさせましょう。
- 学校からのプリント類を親に渡す習慣をつけさせましょう。
- 宿題を自分で確かめて、宿題をする順番を決めさせましょう。

### ★宿題について★

学校での学習を振り返りながら、教科書や資料集、ノートを参考にして、苦手な内容もねばり強



く取り組むようにアドバイスをしましょう。



## 家庭学習（自主学習）ワンポイント・アドバイス



### ◎ 漢字の学習

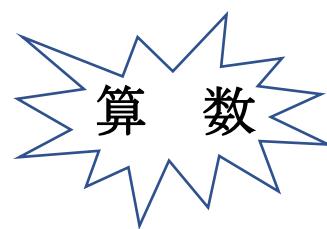
- ・漢字の構成や字形（「へん」や「つくり」のバランスや「とめ」、「はらい」など）を意識して練習をしましょう。
- ・習った漢字を使って、熟語や短文づくりをしましょう。
- ・国語辞典や漢字辞典の使い方に慣れるように、常に使うように心がけましょう。

### ◎ 日記や作文

- ・自分の気持ちや考えを明確にして書くようにしましょう。
- ・会話文の書き方や句読点の使い方に気を付けて書くようにしましょう。

### ◎ 詩、短歌、俳句、百人一首などの暗唱や朗読

### ◎ 四字熟語やことわざ、慣用句、反対の意味の言葉調べ



### ◎ 計算練習

- ・よく間違える計算は、繰り返し練習をしましょう。
- ・間違った問題は、どこをどう間違ったのかを見つけて、必ずやり直してみよう。

### ◎ 繰り返し教科書やドリルの問題を取り組んでみましょう。

### ◎ プリントやテストの問題をもう一度やってみましょう。

### ◎ 読書（いろいろな種類の本を読みましょう。）

### ◎ 教科書の文章や新聞記事など字数を決めて視写する。

### ◎ 学習した英語を発音したり書いたりする。

### ◎ 外国の衣食住や文化を調べて、まとめる。

### ◎ 社会科や理科の教科書を読んで、大切なポイントをノートにまとめる。

### ◎ 家にあるドリルや問題集をする。

### ◎ 新聞やインターネット、辞典や事典などを活用した学習をする。

### ◎ 学校のチャレンジプリントをする。

### ◎ リコーダーで学習した曲の練習。（健康上できない場合あり）

### ◎ 家庭科で学習したことを、家庭生活の中で実践してみる。

### ◎ 単元テストに向けて、学習したことをノートに整理する。



## 自主学習に取り組んでいくにあたって

★ 自主学習に取り組む前に、宿題と次の日の準備は必ず済ませましょう。



★ 無理のない範囲で行うようにしましょう。

★ 調べたことや文章をノートに書くときは、だれが見ても読みやすい文字で書きましょう。

★ プリントなら1枚以上、ノートなら1ページ以上から始めてみましょう。慣れれば、少しずつ増やしていきましょう。



★ 家庭学習（自主学習）のワンポイント・アドバイスをもとに取り組んでみよう。それぞれの学年に合ったものがいいですが、上の学年の学習にチャレンジしてもOK。

★★★宿題、家庭学習が終わったら、必ず手洗い！！！★★★



家庭学習（自主学習）は、強制ではありません！

でも・・・

取り組み始めると、どんどんと学習に対する意欲関心がわき、  
自分自身の興味関心の世界が広がります！  
そして、何よりも進んで学ぶ子どもに成長します！

Good luck to you.